

# 船員保険事業（健康づくりの支援）に関するアンケート 調査結果概要版

平成28年1月

## 調査の概要

船員保険においては、加入者の皆さまに、将来にわたって健康に暮らしていただくため、健診事業等の実施を通じて、健康づくりの支援に力を入れています。

本調査は今後、こうした取組みをより効果的に実施していくにあたって、加入者の皆さまにご協力をいただき、実施したものです。

### ■調査方法

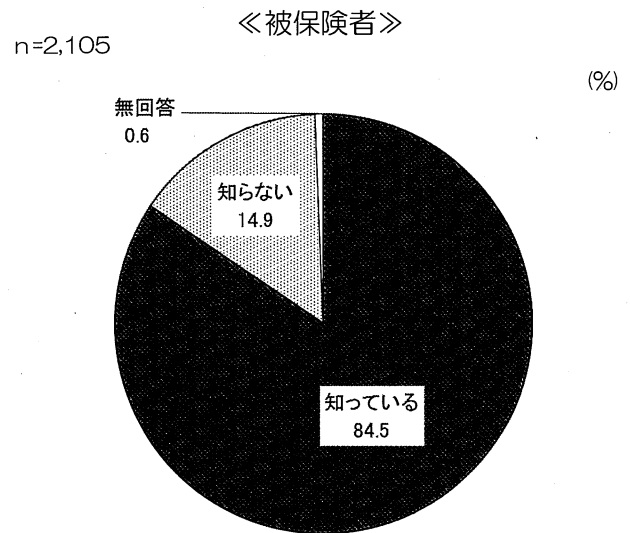
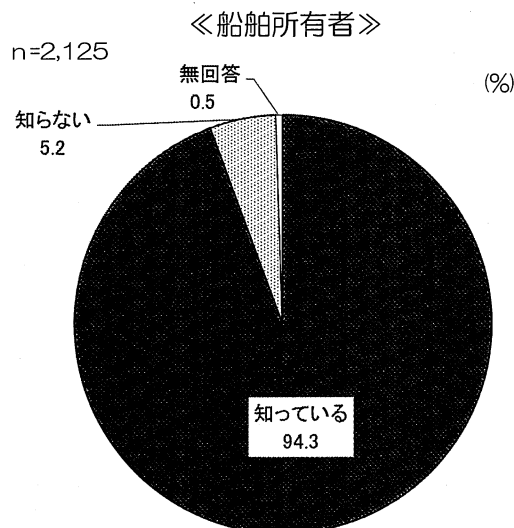
- 調査対象 ①船舶所有者  
②被保険者（35歳～74歳）
- 実施方法 郵送による調査票の配布・回収
- 実施期間 平成27年11月4日～12月4日
- 配布数 ①4,158票  
②8,000票
- 有効回答 ①2,125票（回収率51.1%）  
②2,105票（回収率26.3%）

## 調査の結果

### 「生活習慣病予防健診」について

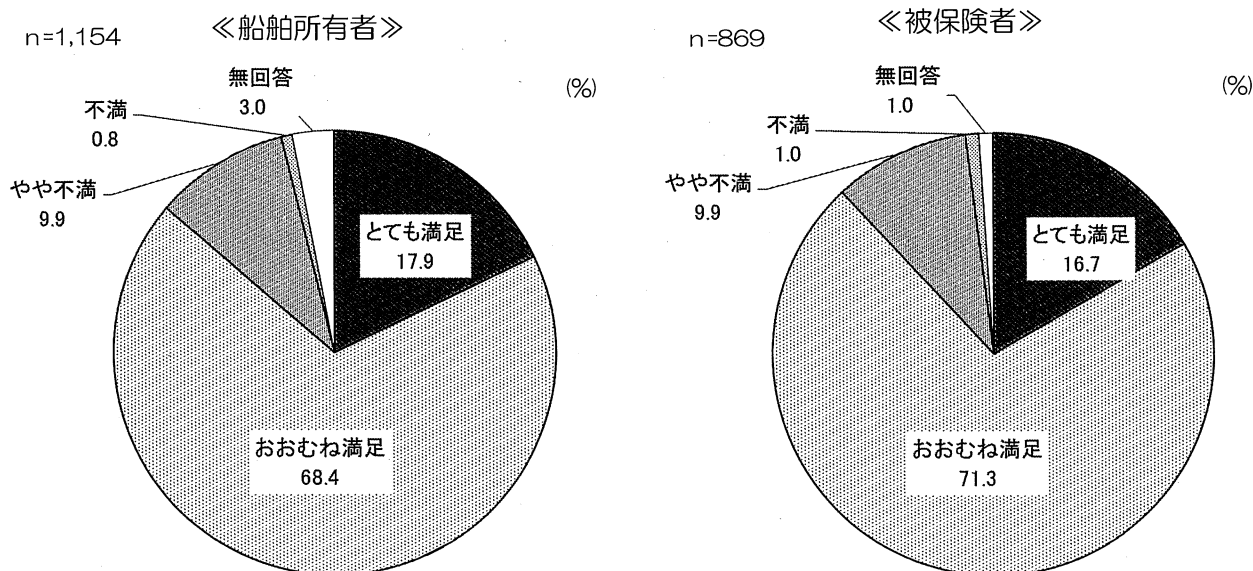
#### （1）船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」の周知度

「知っている」は、《船舶所有者》94.3%、《被保険者》84.5%で、「生活習慣病予防健診」の周知状況はいずれも良好となっていますが、《船舶所有者》が《被保険者》を10ポイント程度上回っています。



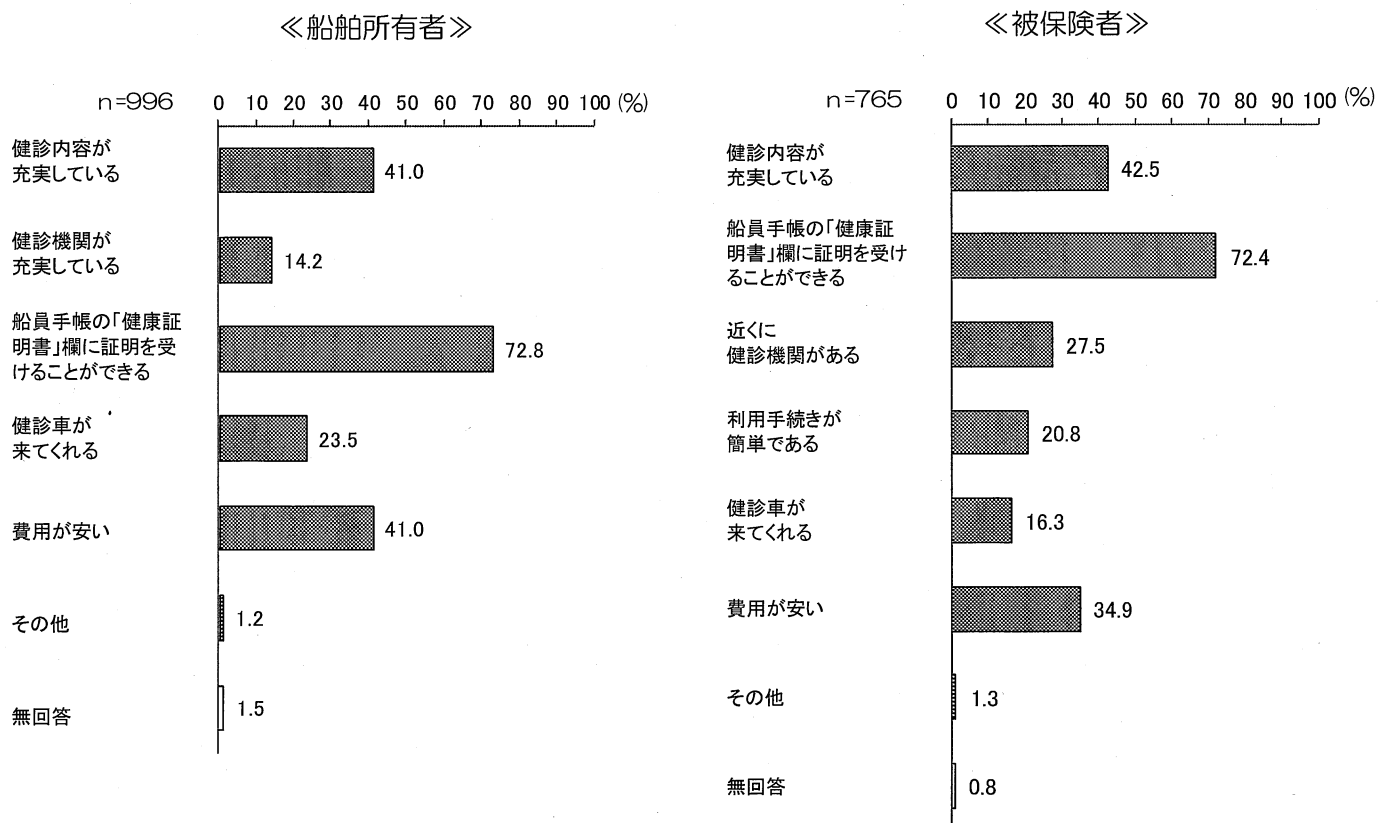
## (2) 「生活習慣病予防健診」の満足度

「生活習慣病予防健診」受診者の健診に対する満足度は、《船舶所有者》86.3%（「とても満足」17.9%+「おおむね満足」68.4%）、《被保険者》88.0%（「とても満足」16.7%+「おおむね満足」71.3%）で、いずれも満足度は高くなっています。



## (3) 「生活習慣病予防健診」に満足している理由

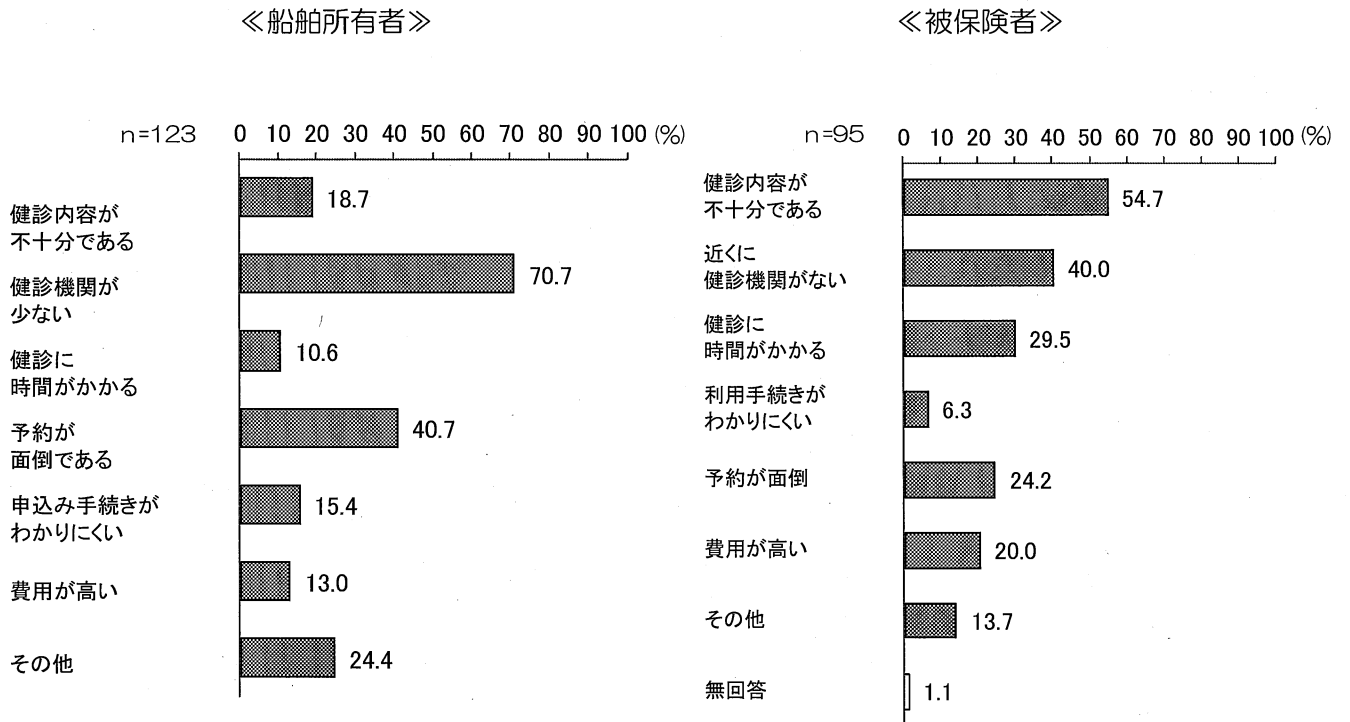
《船舶所有者》・《被保険者》ともに「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が7割台前半で最も高くなっています。以下、《船舶所有者》は、「健診内容が充実している」、「費用が安い」が41.0%で同率の2位、《被保険者》は、「健診内容が充実している」(42.5%)、「費用が安い」(34.9%)の順で続いています。



#### (4) 「生活習慣病予防健診」に不満な理由

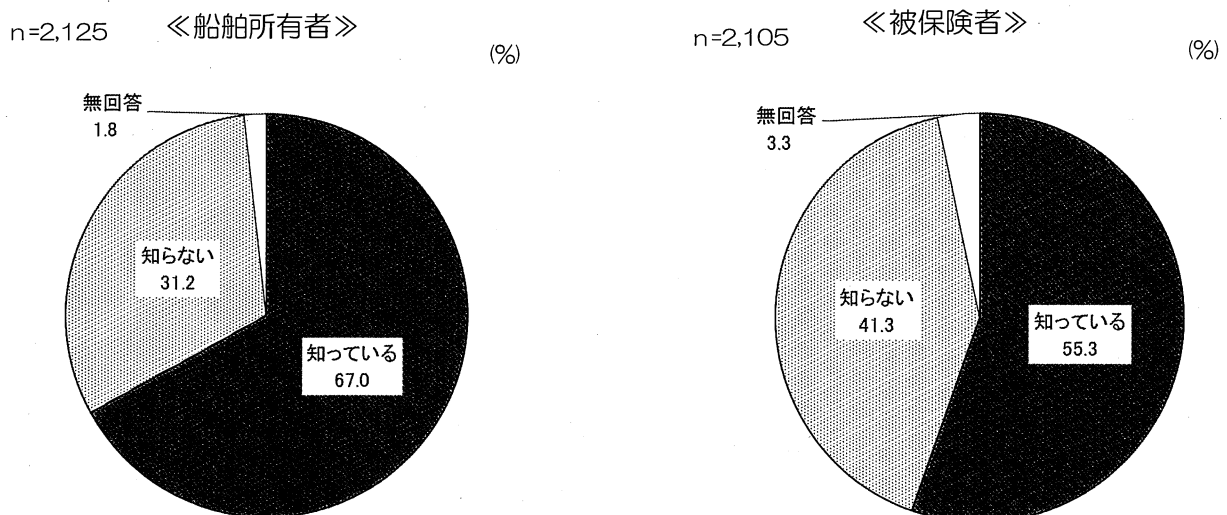
《船舶所有者》は「健診機関が少ない」が7割を超えて最も多く、約30ポイントの差で「予約が面倒である」が40.7%で次いでいます。

《被保険者》は、「健診内容が不十分である」が54.7%で最も多く、「近くに健診機関がない」が40.0%で次いでいます。回答者数は少ないものの、《船舶所有者》と《被保険者》の回答傾向には差が見られます。



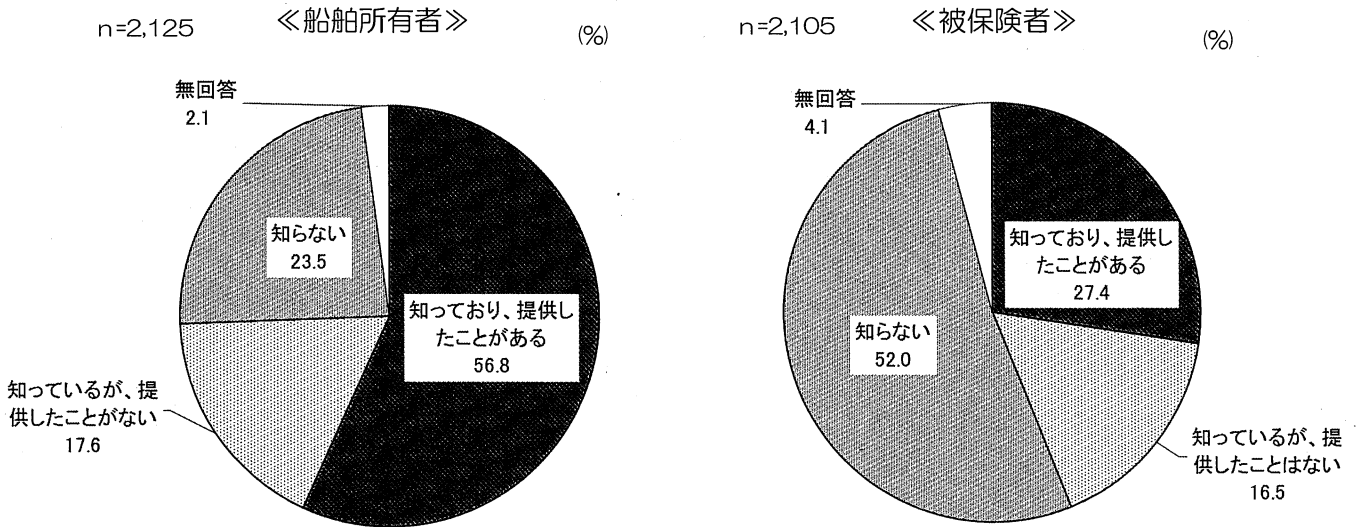
#### (5) 船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることの周知度

「知っている」は、《船舶所有者》67.0%、《被保険者》55.3%で、《船舶所有者》が《被保険者》を10ポイント以上、上回っています。



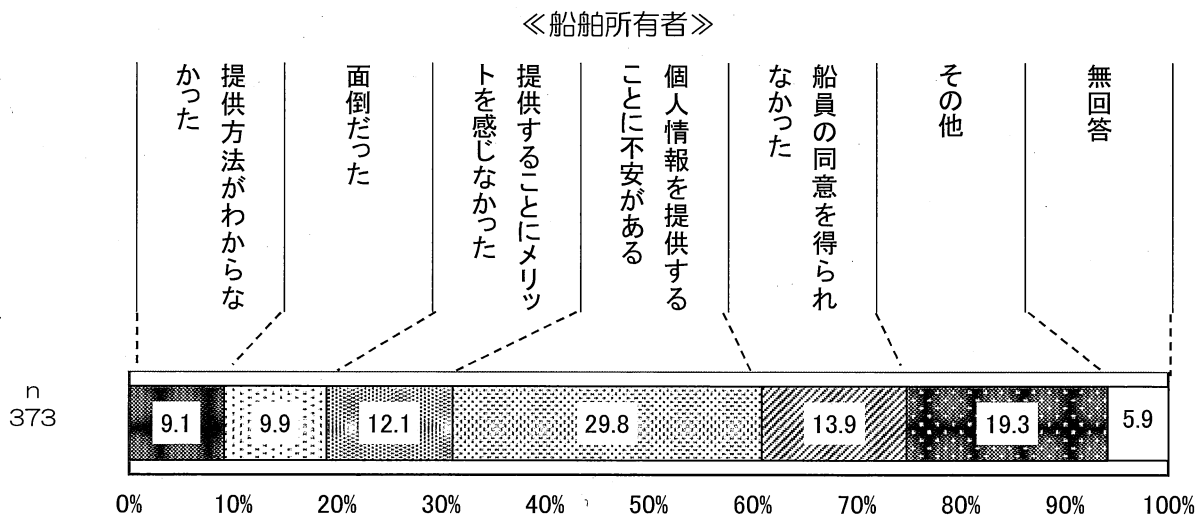
(6) 船員手帳の「健康証明書」欄の写しについての提供依頼の周知度

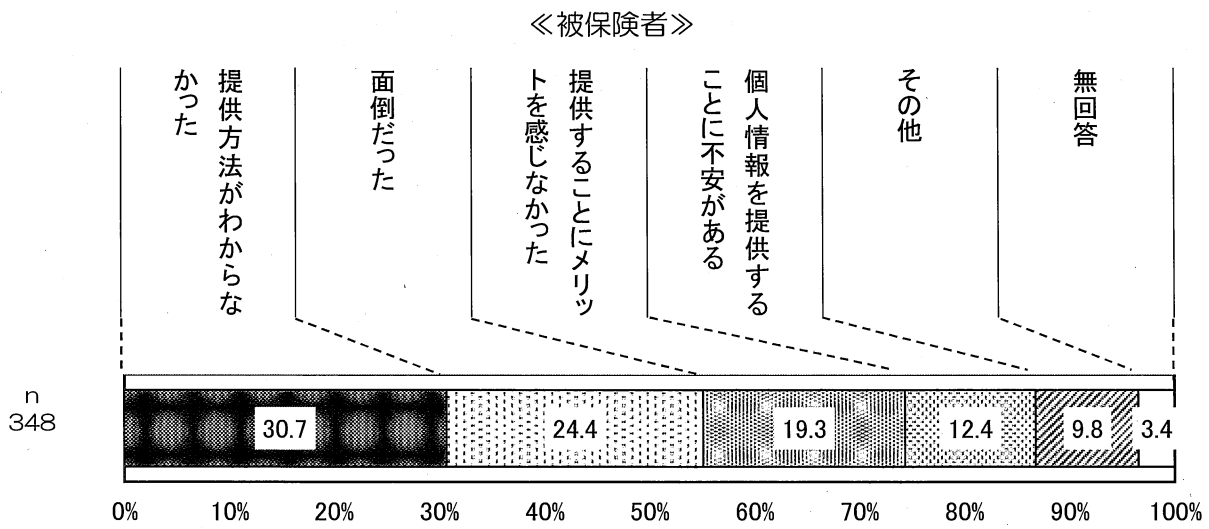
《船舶所有者》は、「知っており、提供したことがある」56.8%、「知っているが、提供したことがない」(17.6%)で提供実施率が約6割、周知度は7割を超えているのに対し、《被保険者》は、「知らない」(52.0%)が過半数を占め、状況に差が見られます。



(7) 船員手帳の「健康証明書」欄の写しを提供することが難しい最も大きな理由

《船舶所有者》は「個人情報を提供することに不安がある」が約3割を占めて最も多いのに対し、《被保険者》は、「提供方法がわからない」が30.7%で最も多く、「面倒だった」が24.4%で次いでおり、個人情報への不安をあげる人は第3位となっています。



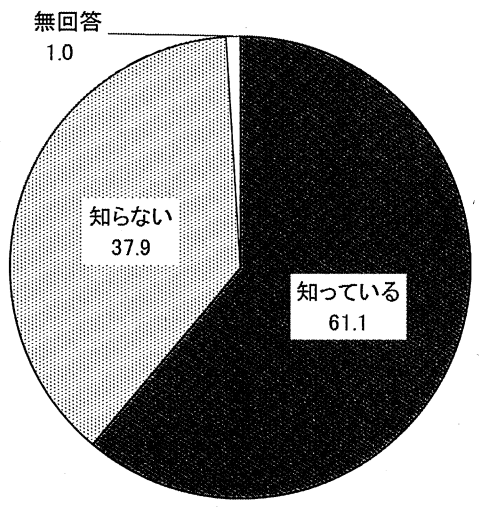


## 船員保険の実施事業について

### (1) 「巡回健診」の周知度

船舶所有者の中で、「巡回健診」の実施について「知っている」としたのは6割を超えて、「知らない」は4割弱となっています。

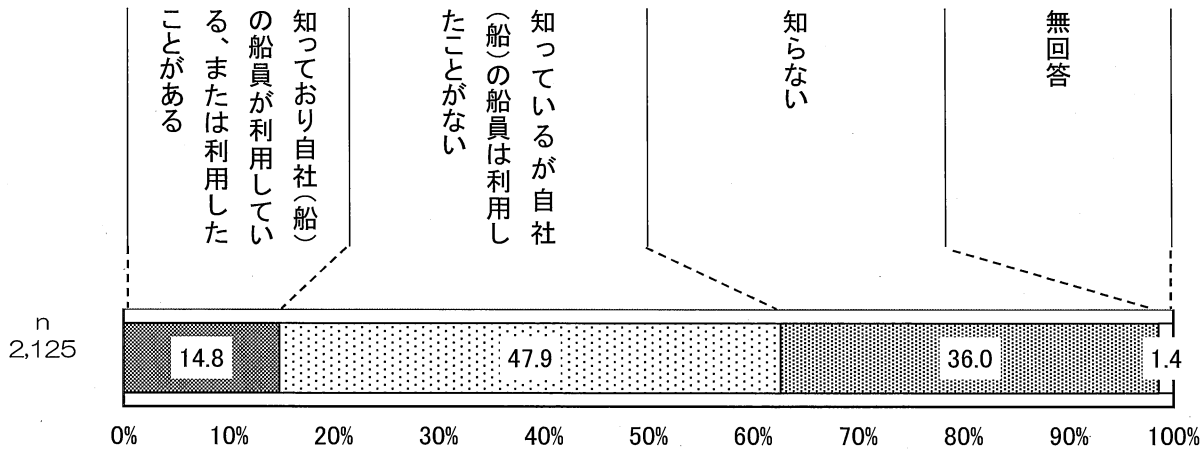
《船舶所有者》  
n=2,125 (%)



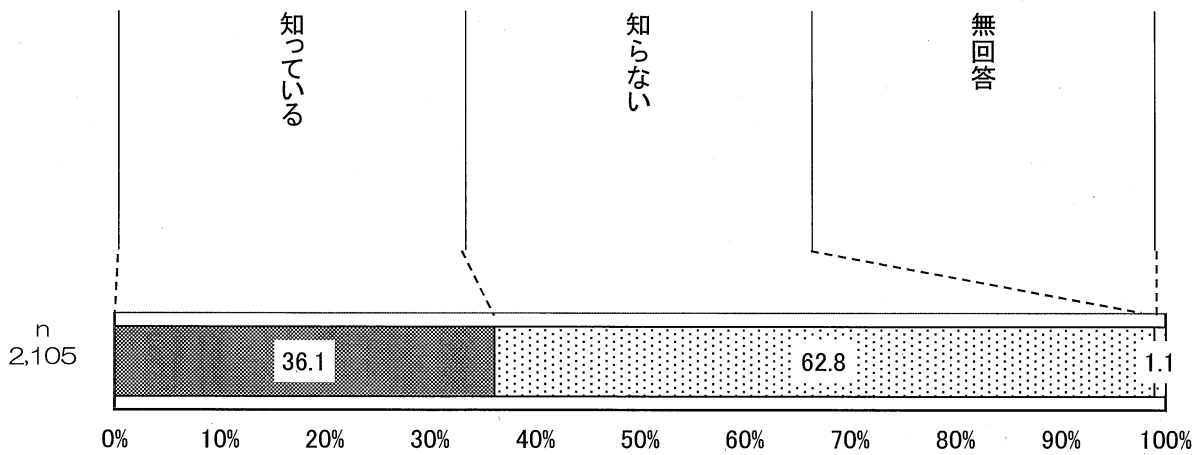
## (2) 「特定保健指導」無料提供の周知度

《船舶所有者》は、「知っており、利用経験がある」が14.8%、「知っているが、利用したことがない」が47.9%で、合わせた周知度は6割を超えています。逆に《被保険者》では、「知らない」が6割を超えています。

《船舶所有者》

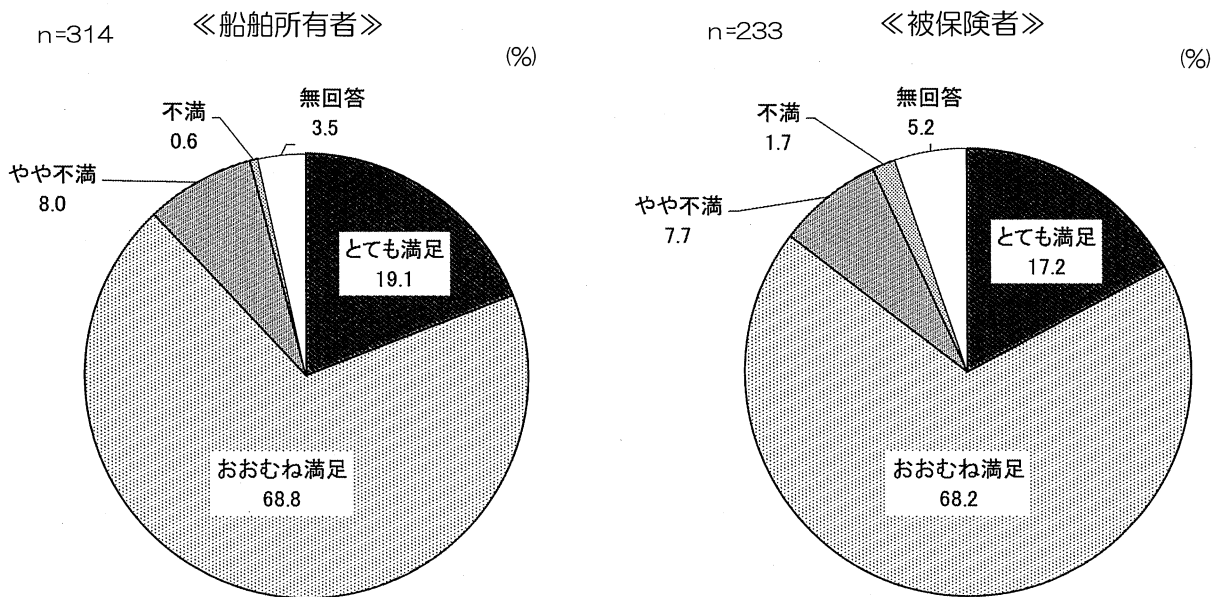


《被保険者》



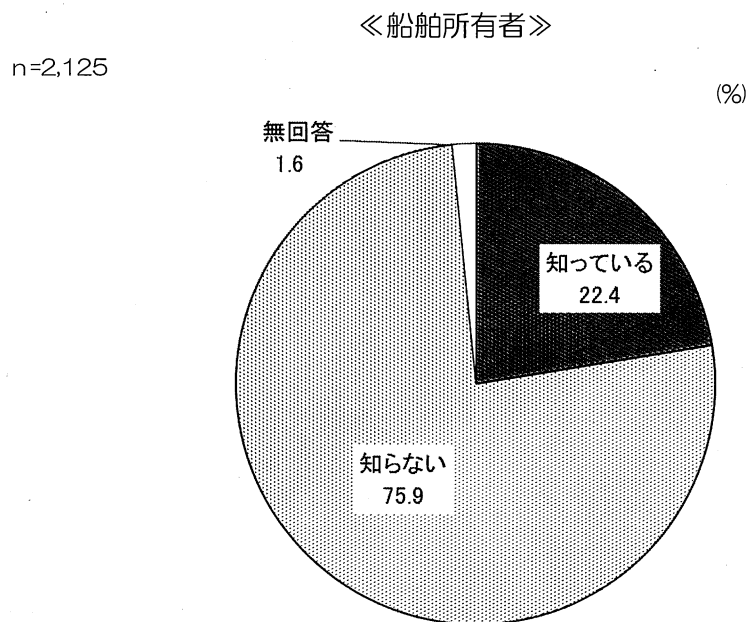
### (3) 「特定保健指導」の満足度

「特定保健指導」受診者の満足度は、《船舶所有者》87.9%（「とても満足」19.1%+「おおむね満足」68.8%）、《被保険者》85.4%（「とても満足」17.2%+「おおむね満足」68.2%）で、いずれも満足度は高くなっています。



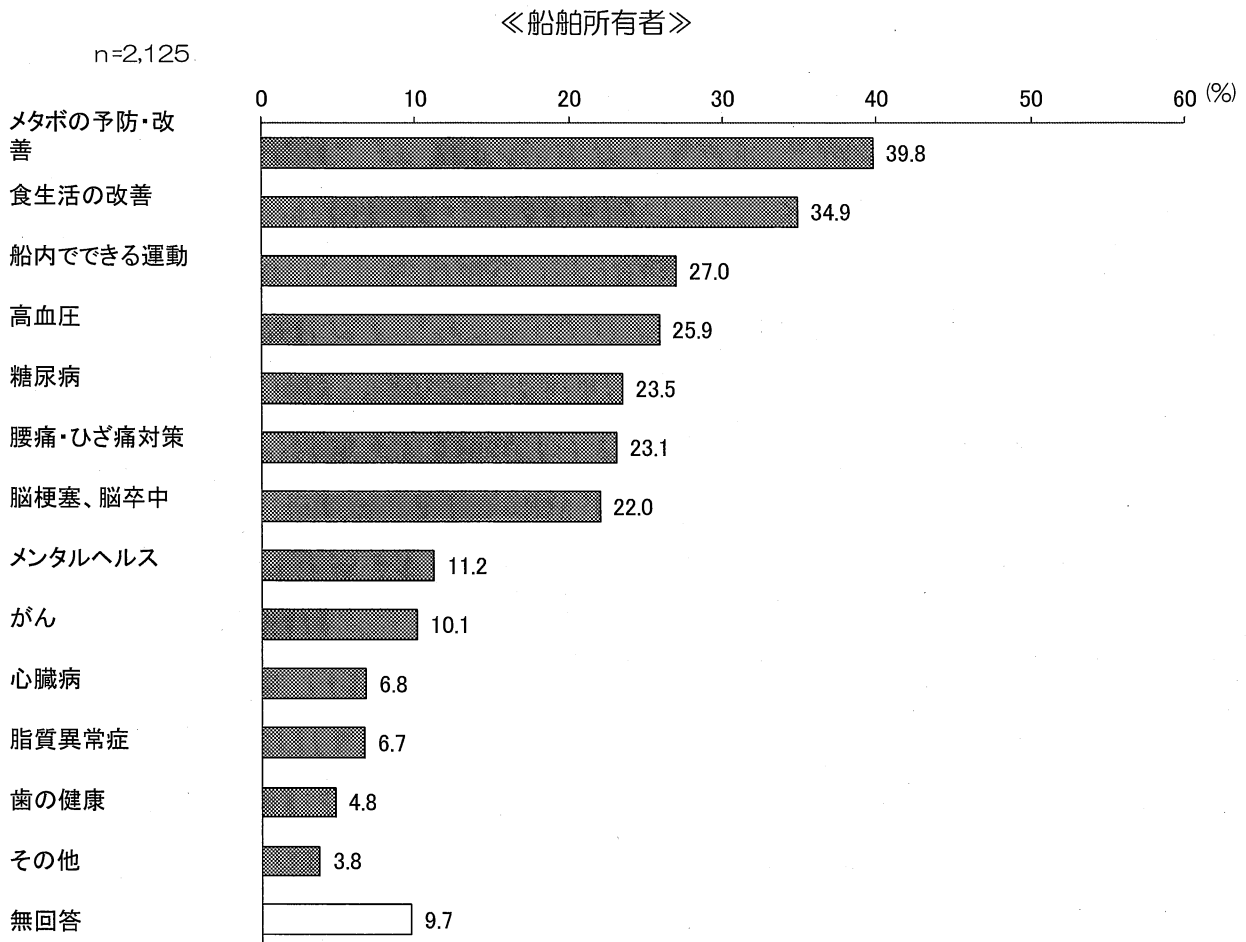
### (4) 無料の「出前健康講座」の周知度

船舶所有者の中で、「出前健康講座」の実施について「知っている」としたのは2割強にとどまり、「知らない」が75.9%で、全体の3/4を占めています。



### (5) 申し込んでみたい無料の「出前健康講座」のテーマ

「メタボの予防・改善」が約4割で最も多く、「食生活の改善」が5ポイント程度の差で次いでいます。以下「船内のできる運動」(27.0%)、「高血圧」(25.9%)、「糖尿病」(23.5%)、「腰痛・ひざ痛対策」(23.1%)の順になっていますが、大きなポイント差はありません。

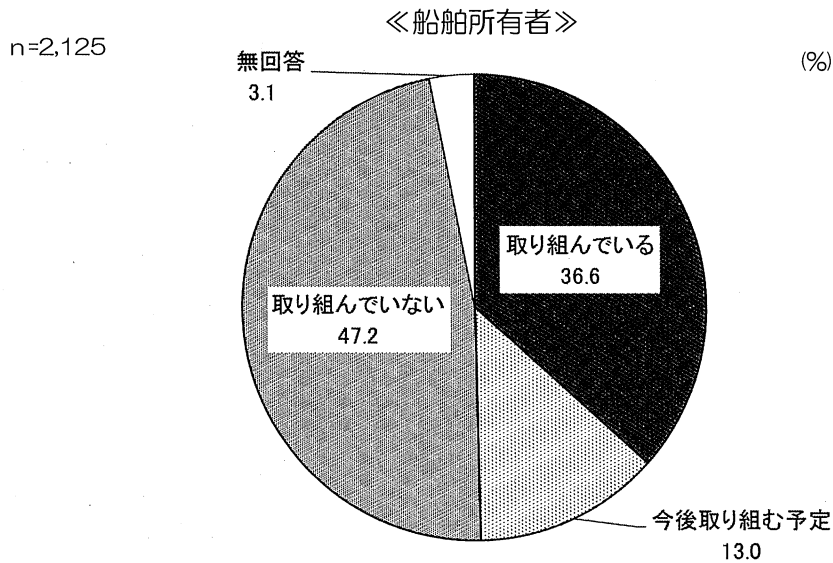




# 健康への取組みについて

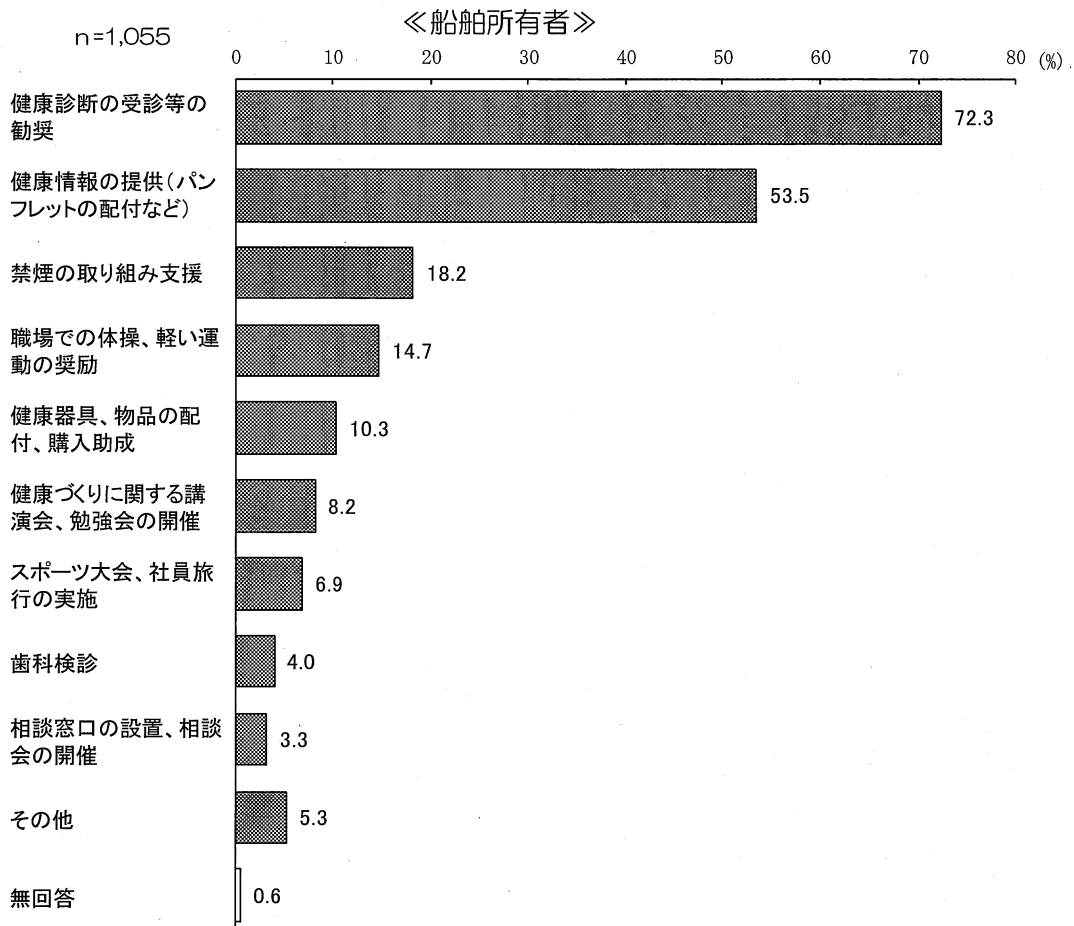
## (1) 船員の健康づくりの取組み状況

船舶所有者の自社の船員の健康づくりの取組み状況は、「取り組んでいる」36.6%、「今後取り組む予定」13.0%で、約半数の船舶所有者が、取り組み意向を持っています。



## (2) 具体的な取組みの内容

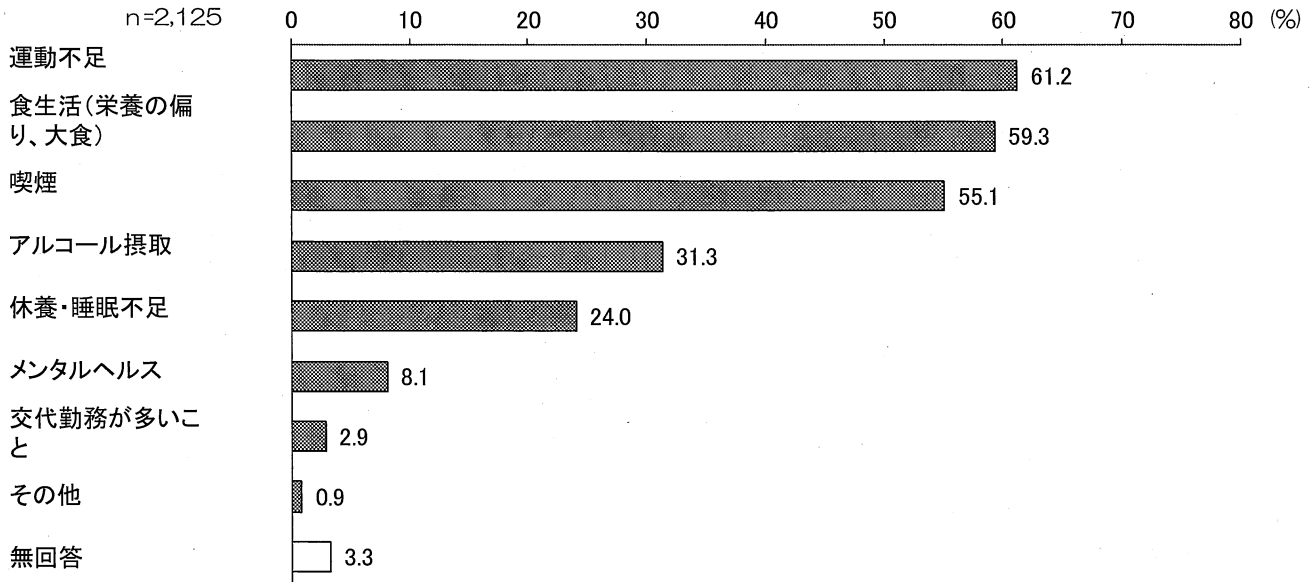
具体的な取組み内容としては、「健康診断の受診等の勧奨」が7割を超えて最も多く、「健康情報の提供（パンフレットの配付など）」が53.5%で次いでいます。第3位の「禁煙の取組み支援」（18.2%）以下とは35ポイント以上の大きな差が見られます。



### (3) 健康の保持・増進を図る上での課題

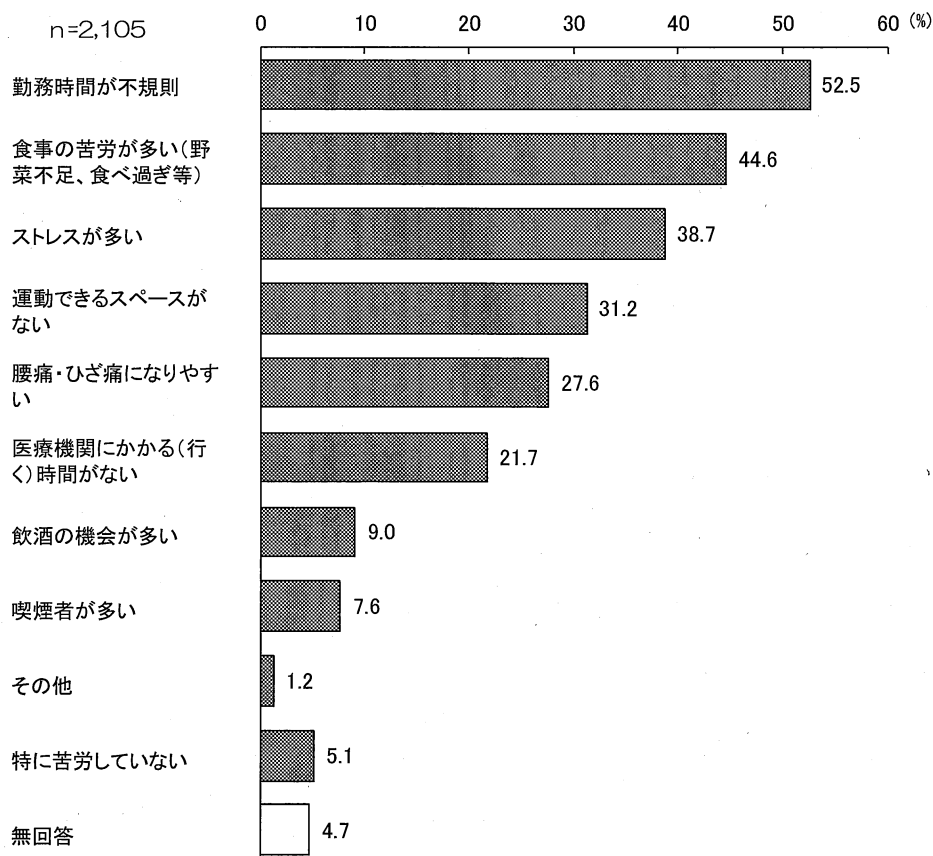
《船舶所有者》では「運動不足」(61.2%)、「食生活(栄養の偏り、大食)」(59.3%)、「喫煙」(55.1%)が上位3位で多くあげられています。3位とは20ポイント以上の差で、「アルコール摂取」が31.3%が続いています。

《船舶所有者》



《被保険者》では「勤務時間が不規則」が52.5%で最も多く、「食事の苦勞が多い(野菜不足、食べ過ぎ等)」(44.6%)、「ストレスが多い」(38.7%)の順で、上位3位となっています。

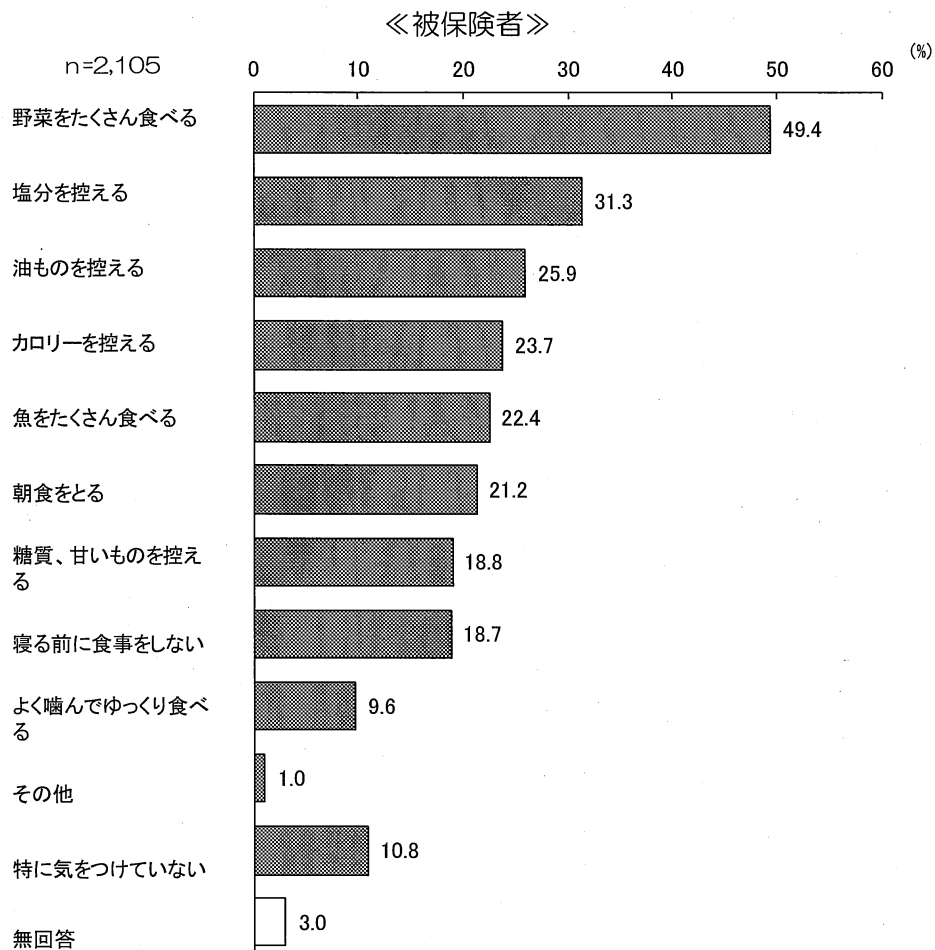
《被保険者》



#### (4) 食生活で主に気をつけていること

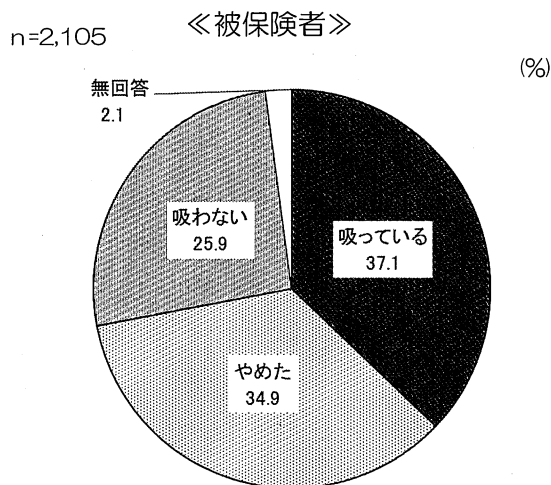
《被保険者》が食生活で主に気をつけていることとしては、「野菜をたくさん食べる」がほぼ半数の49.4%で最も多く、15ポイント以上の差で、「塩分を控える」が31.3%で次いでいます。

3位から8位は、「油ものを控える」(25.9%)、「カロリーを控える」(23.7%)、「魚をたくさん食べる」(22.4%)、「朝食をとる」(21.2%)、「糖質、甘いものを控える」(18.8%)、「寝る前に食事をしない」(18.7%)の順で、ポイント差は、少なくなっています。



#### (5) 喫煙状況

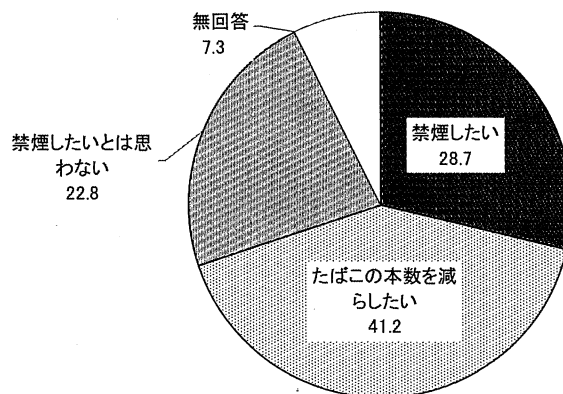
喫煙状況は、「吸っている」37.1%、「やめた」34.9%で、喫煙経験者は7割を超えます。



### (6) 減煙・禁煙の意向

喫煙者の中で、「禁煙したい」が3割弱、「たばこの本数を減らしたい」が4割強で、約7割の人が減煙・禁煙の意向を持っています。

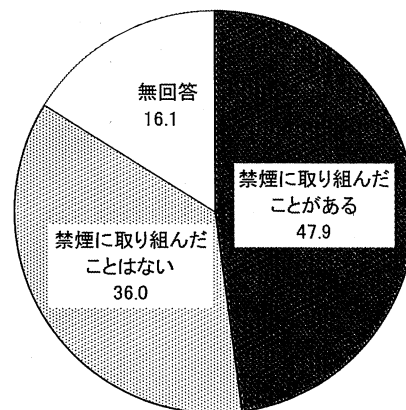
n=781 <<被保険者>> (%)



### (7) 禁煙への取り組み経験

喫煙者の禁煙への取り組み経験については、「禁煙に取り組んだことがある」は約半数の47.9%、「禁煙に取り組んだことはない」が36.0%を占めています。

n=781 <<被保険者>> (%)



### (8) 船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援

「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」が約半数の49.4%で最も多く、20ポイント以上の差で「健康器具の貸出、配付（血圧計など）」（28.7%）、「健康診断や保健指導の実施機関の紹介、あっせん」（26.9%）、「禁煙に関する取り組みの支援」（25.7%）の順で差がなく続いています。

